

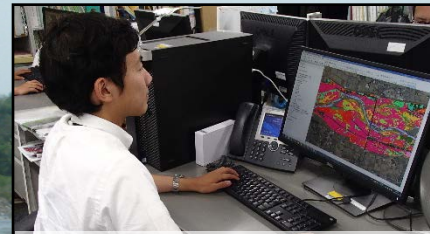
生態系調査が様々な河川事業に活かされます



双眼鏡等を用いて、河川に生息する鳥類を把握します



学識者や事務所と、調査方法等について現場で協議します



内業では現地で得た結果をデータ化し、解析等しています



休日はNPO活動を通して友人や後輩達と過ごしています

■私のスピリッツ

小さい頃から自然に興味があったことや、学生時に河川植生に関する研究をしていた関係で、自然を守る仕事につきたいという想いで就職しました。現在は河川の生物調査を担当しており、「自然面からみた河川の特徴」を把握し、治水面からの条件も踏まえつつ「河川整備の効果や影響を受けて変化する自然をどのように維持し、貴重な生き物の住む環境を創出するか」等を提案しています。

私達が調査を行うことで、重要な生き物が住む場所等が明らかになり、その結果が今後の工事等にも反映されていくため、重要な仕事に関わっていることを実感しています。

■休日の過ごし方

家で読書をしたり、NPO活動を通して友人や後輩達と過ごしています。また現在は技術士の建設部門（建設環境）を取得するために勉強しています。



環境と治水の両立した河川を目指しています。
H29高崎管内水辺現地調査(鳥類)業務

アジア航測株式会社
担当技術者 篠原光礎(30)